

報道関係者各位

NPO 法人 生活者のための食の安心協議会

**第47回 青空市場 2011年2月13日(日) にSOIL マーク商品が勢ぞろい****安心SOILマーク農作物のおいしさを実感ください。**

豊かな土で育った、本当の意味でおいしい農産物と農産加工品を、有楽町東京国際フォーラムに於いて開かれる第47回青空市場で試食・販売いたします。微生物が活性化した土壌の力、丁寧に作られた農作物のおいしさをこの機会に是非お試しください。生産者が現場の生の声を皆さんにお届けします。S o i l マークを目印においでください。

**第47回青空市場**

日時：2011年2月13日(日) 10:00~16:30

開催場所：東京国際フォーラム(東京都千代田区丸の内3-5-1)

最寄り駅：JR「有楽町」駅より徒歩1分、JR「東京」駅より徒歩5分

主催：青空市場実行委員会 実行委員長 永島敏行

<http://www.aozora-ichiba.co.jp/>

青空市場は、「生産者のチャレンジ・ショップ」として、農林水産業の生産活動及び生産物の二次加工に関わる方々が、直接都市の消費者とふれ合いながら販売交流する場です。

**●試食販売物**

- いわて藤沢納豆 ○岩手産完熟りんごストレートジュース ○うんめえ醤油 ○日本一うまい奥久慈産コシヒカリ
- 秋田栗駒高原産完熟トマトケチャップ ○熊本産みかんストレートジュース ○常陸大黒の煮豆
- 熊本果実堂の 甘夏・ブルーベリー・トマト ドレッシング

**●企画販売物**

- 南青山アトリエ・ド・フロマージュとコラボ製作 ○常陸大黒のロールケーキ ○バレンタイン用常陸大黒のショコラ

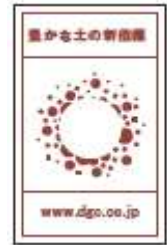
**●その他販売物**

- 秋田栗駒高原産 沢もたし、原木なめこ、ぼっけ(ふきのとう)味噌など、珍しい山菜
- 秋田栗駒高原産 無添加・手作り加工ジャム、ソースなど
- 岩手県産 とれたてのりんご ○無農薬栽培菜種で出来たサラダ油 など・・・

●当日は3000円以上ご購入の方にオリジナルS o i l エコバックプレゼントします。

## ■ Soilマークについて

NPO法人 生活者のための食の安心協議会では、今までに全くなかった新しい方法で農地の土壌を分析し、生物性豊かな土壌で育てられた農産物に「SOILマーク」のシールを貼って、安心を求める生活者の農産物選びの目安を提供開始しました。



## ■ 有機野菜、減農薬野菜、無農薬野菜・・・違い、分かりますか？

安全な農産物の需要は、日々高まる一方ですが、その選び方の指標はイマイチ分かりづらいのが現状です。生活者のための食の安心協議会では、「豊かな土壌で育った作物は良い作物である」という分かりやすい目安を設けるために、この度その土壌分析のツールを普及することにしました。美味しく、体に良い農産物を生活者に食べてもらうために精魂込めて土壌づくりをしている農業生産者から、すでに100件を超える依頼を受けています。分析終了後、生物性豊かな土壌を作り上げた結果が出た農業生産者は、出荷時に右の「SOIL」マーク(多様で活発な土壌微生物がいる豊かな土壌で育った作物の客観的な証明となる)を商品に添付します。生活者がそれを目安に商品選択できる仕組みを作っていきます。

## ■ 土壌の豊かさって何？

では、土壌の豊かさが、どう作物に影響するのでしょうか。

今まで豊かな土壌をつくるためには、肥料や酸性・アルカリ性の度合いが適切か(土壌の化学性)、土の硬さや水はけのよさは適切か(土壌の物理性)、といったことに着目することが重要であるとされてきました。しかし、長年の研究から、土の中に住んでいる微生物のバランス(土壌の生物性)についても適切かどうかあわせて検討すべきだということがわかってきました。そこで、(独)農研機構 中央農研 生産支援システム研究チームの横山和成博士が20年近くにわたる研究の成果として実用化されたことを基に、土壌微生物の多様性(いかに様々な種類がいるか)と活性(いかに元気であるか)について調べるのがこの「土壌微生物多様性・活性値」という分析です。

土壌の生物性がバランス良くいて、活発に働いている土は、農産物が育つのに良い環境であり、農薬や化学肥料が乱用されていない、安心安全な土の客観的な証になります。(財)日本土壌協会他との共同研究で、生物性が豊かな土で育った農産物は、そうでない農産物に比較して糖度が高く、ミネラルをはじめとする微量成分に富み、えぐみのもとである硝酸態窒素が農産物に残りにくいことが分かっています。つまり、生物性豊かな土で育った農産物は、おいしい農産物でもあります。そのテスト方法は、これからのグローバルスタンダードとなりうる簡便、かつ有用な方法です。(国際特許出願中)

生活者は、わかりにくい農産物の安全指標から開放されて、SOIL マークのついた農産物を選ぶことで、安全でおいしいものを食卓に並べることが可能になります。

土壌の豊かさを表す3つの視点



※媒体企画などへデータの提供ご協力いたします！

■このリリースに関するお問い合わせや取材、資料ご希望の方は下記までご連絡ください■

NPO 法人 生活者のための食の安心協議会

広報窓口 櫻本直美

電話：03-5282-8018

〒101-8323 東京都千代田区神田小川町 2-10 ADEX ビル

HP <http://www.anshin-shoku.jp> メール [sakura@dgc.co.jp](mailto:sakura@dgc.co.jp)